

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韭崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信

迎春

ここから
晴れやかに
すごせる
一年に
なりますように
令和二年

陽を浴びる特別養護老人ホーム穴山の杜

『2020年も良き年にしましょう』



社会福祉法人 信和会 評議員
寺井木材株式会社
代表取締役

てらい ひでひと
寺井 英仁

マッカーサー元帥が座右の銘としていた、無名の作詩家サミエル・ウルマン氏（アメリカ）の『青春』と言う詩がある。

《青春とは人生のある期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失う時に精神はしぼむ。》

私は、55歳である。壮年といわれる世代であろうが、自身の生き方は心の持ち様であると考えさせられる詩である。

《人は信念と共に若く、疑念と共に老ゆる 人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる 希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる》

栗原会長のきらきらと輝くやんちゃ坊主のように愛くるしい眼と言動を思い起こすところであり、信和会のスタッフの皆さんと交流させていただくと我々も元気になるのが有り難いところだ。感謝を忘れず青春を謳歌したいものだ。

昨年は、令和を迎え新天皇様・皇后様の誕生の時に日本人として過ごす事が出来た。ラグビーワールドカップでの日本代表チームの活躍によりにわかファンである私ですら勇気をもらうことも出来た。『ワンチーム』とは素敵なワードである。企業でも家庭でも、目標をしっかりと立て力を合わせ、準備と過程と結果を共有し評価を受け人的結束が強固になる。理想であるが中々出来得ない事である。信和会に於いては、秋の叙勲にて栄えある『緑綬褒章』を多くの入所者の方と共に授章されるばかりでなく、『鳳凰会館』新築を夢でなく現実のものとして建立する事が出来、有意な一年であったと思うところである。

有効に活用され、末永く穴山地域にも愛される建物であって欲しいところである。

2020年本年はどのような年になるのであろう。56年ぶりの東京オリンピック開催に盛り上がり、世界を代表するアスリートの限界にチャレンジする姿に魅了されるのであろう。政治経済はどうであらう。混沌とする中、評論家より厳しめな表現が耳には入る事が多くなってくるのではないだろうか。少子高齢化が及ぼす影響を地方都市は目の当たりにし始め、『働き方改革』『同一労働同一賃金』等、国の施策に翻弄され、企業の勝ち負けが表面化してくる様相に穏やかではいられない報道も飛び込んで来そうである。

しかし信和会に於いては、新年を迎え栗原理事長は将来を見据え着実な歩みをすべく新春のスタートに燃えておられる姿に期待は膨らむところである。課題難題は山積であろうが、情報収集力と分析力そして広い人脈を生かし、持ち前のポジティブシンキングにて、信頼置けるスタッフの皆さんの力をお借りして法人をぐいぐいとリードしてくれる2020年となることを期待したい。

昨年のキーワードは『笑顔』であったと私は思うのだが、ノーベル化学賞を受賞された吉野彰さん、そしてAIG全英女子オープンという世界最高峰のメジャータイトルを勝ち取った渋野日向子選手のお二人は揃って素敵な笑顔を我々に見せてくれた。『笑顔』は周囲に良い影響を与えるし、人も寄ってくると思う。『笑う門には福来る』ではないが、法人内にとどまらず穴山地域に信和会を中心として『笑顔』が広がる事も期待したいところである。

ありがとう信和会、よろしく信和会、頑張れ信和会。応援団も大勢いますよ。

本部だよ!

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 荳崎市穴山町 5390
Tel 0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

開催日 : 理事会・評議員会
令和元年12月5日(木)
開催場所 : 古名屋ホテル 会議室
審議事項 : 第1号議案 鳳凰会館建設に伴う定款変更
第2号議案 事業報告
第3号議案 その他



フラワーアレンジメント
作 理事長

令和元年度第2回目の理事会及び評議員会をそれぞれ開催致しました。

第1号議案は 穴山の里鳳凰会館建設に伴い基本財産の変更が発生いたしました。対象土地の基本財産の登録及び面積変更、新規施設の登録を定款変更として提案し承認していただきました。

第2号議案は 施設整備等を中心とした活動状況を報告しました。穴山の杜にて非常電源用の補助金申請が受理されたことを報告しました。これにより事業規模800万円相当の事業費の半額を助成していただき今期中に施工する予定です。また、穴山の杜ショートにおいても非常用電源設備を購入し設置いたしました。穴山の里の鳳凰会館の残り工事(駐車場舗装、フェンス設置)も年内に完成する報告をし、すべて承認されました。

令和元年度秋の褒章“緑綬褒章”を賜りました

令和元年11月3日

一昨年の国土交通大臣表彰に続き、自ら進んで社会に奉仕する活動に従事し徳行顕著な社会奉仕活動功績が認められ“緑綬褒章”を賜りました。

これは信和会設立当初より穴山の里、わ〜く穴山の里、共同生活事業所の利用者の皆さんと職員がJR東日本穴山駅構内の清掃作業を30年間続けてきたものを評価して頂きました。



令和元年12月17日
国土交通省において伝達式が行われ、法人代表として栗原 信理事長が出席いたしました。



穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel 0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



穴山の里 文化祭

今年の穴山の里文化祭は、この秋竣工したばかりの地域交流センター鳳凰会館において行われました。会館にとって初めての大きなイベントということで、準備の段階から熱が入り、里の利用者さんや職員はもとより、法人本部やボランティアの皆さんのご協力もいただく中で、会場づくりを行うとともに合唱など発表の練習を積んできました。展示作品では、里の他、地域の皆さんや法人各施設の作品も数多く展示され、会場は木の香漂う素敵なギャラリーとなっており、来場者に楽しんでいただくことができました。



また、今年は発表と展示が同じ会場ということもあって、文化祭がより素敵になりました。会場内の華やかな展示品を背景に行われた発表演目、ダンス「パプリカ」、劇「はらぺこアオムシ」や合唱クラブの歌声は、面会日の和やかな雰囲気にも包まれて、また、わ〜く穴山の里太鼓クラブの勇壮な音色や末広会様の優雅な日本舞踊とも相まって、会場を大いに盛り上げました。また、広い会場にお客様をお迎えし、多くの皆さんと感動の時間を共有することもできました。最後に、文化祭の開催に際して、ご尽力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



特別コラム 強度行動障害について(最終回)

このコラムも4回目で最後になりますが、皆様にお伝えしたかったことは「問題行動とは、本人以外の人にとって問題となっている行動でも、本人にとってはただ困っていることを行動で表しているだけであり、意味もなく、騒いだり叩いているのではなく、〇〇して欲しい、△△が嫌だ、などという訴えである。」ということを理解して欲しいということです。

したがって、私たち職員は、いわゆる問題行動を減らすことに注力するのではなく、本人が困っていることや訴えていることは何かを理解し、騒いだり叩いたりして表現するのではなく、適切に意思表示ができるよう支援に努めていかなければならないと思います。一方、在宅にも強度行動障害の対象者がいます。在宅では保護者が主な支援者であり、強度行動障害支援に対する知識がなく、虐待を及んでしまうケースも少なくありません。強度行動障害に対する支援とはどういうものかについて、更なる発信ができるよう、スキルを積んでいきたいと考えています。(杉谷 太)

ナイスハートふれあいスポーツ広場



10月9日、緑が丘スポーツ公園体育館で行われた全日本自動車労連が主催の「ナイスハートふれあいスポーツ広場甲府大会」に、利用者15名と職員5名で参加してきました。利用者さんは風船バレーやフライングディスクなど、気軽に楽しめるスポーツを通して、他施設の利用者さんや普段は自動車の仕事をしているスタッフの皆さんと交流していました。楽しい雰囲気の中で精一杯体を動かすことができ、うまくできた時には皆さん自然と笑顔になっていました。

知的障害者福祉関係職員研究大会出席

10月22日から24日までの3日間、鹿児島県で開催された全国知的障害福祉関係職員研究大会に出席させていただきました。全国から関係職員約1,800人が集い、学びを深める大会でした。

現在私が担当している利用者さんは高齢の方という事もあり、大会2日目の「老いに寄り添う」というテーマで分科会が、3日間の中で一番印象に残る学習の機会となりました。

この日の講義やトークセッションでは、高齢の方を支援する上で大切なことは、「歳を重ねてもその利用者さんの長所を忘れないこと」ということが強調され、深く心に残りました。毎日雄大な桜島を見ながら研修ができたことは、とても貴重な体験となりました。今回学んだことを今後の支援に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。(佐野弘平)

わ〜く・里スポーツ交流会

10月23日、竣工したばかりの鳳凰会館で、
 韮崎スポーツクラブのご指導のもと、「穴山の里」・
 「わ〜く穴山の里」の利用者さんが共同でスポーツ
 交流会を行いました。障害物リレーやパン食い競争
 などレクリエーションを通し、「わ〜く」の方々とふ
 れあい・競い・協力しながら、楽しい時間を過ごす
 ことができました。

みんなで次回開催を楽しみにしています。



韮崎小学校大豆収穫実習

10月28日、韮崎小学校3年生の生徒さん58名が大豆収穫体験のために来園
 されました。圃場で大豆の育て方などについて説明を聞いた後、「大豆から作られる
 ものは？」という質問に、「枝豆」、「お豆腐」などと元気よく答えていました。

その後、殻から実を取り出す作業では中から虫が出てきて驚いたり、分別作業では
 昔の選穀機のハンドルを回すなどして、楽しく有意義なひと時を過ごしていただき
 ました。参加した利用者さんも生徒さんとの交流が出来て、とても嬉しそうでした。



福祉と文化の祭り

11月3日、穴山町ふれあいホールで行われた
 「福祉と文化祭り」に参加しました。利用者さんが
 活動中作成した作品を出展するとともに、合唱クラ
 ブの発表もあり、日頃の成果を穴山町の皆さんの前
 で披露することができました。見聞してくださった
 方々から暖かい声を掛けていただき、利用者さんも
 とてもうれしそうでした。

展示作品のうち、前田節子さんの毛糸アートが
 韮崎市文化祭の出展作品に選ばれました。



里のクリスマス会

12月23日、鳳凰会館にてクリスマス
 会を行いました。

各班の発表は、毎日活動中に練習を行い、
 本番ではとても楽しそうに歌や劇を行いま
 した。職員の出し物もあり利用者さんから
 多くの拍手と笑顔をいただき、みんなで楽
 しい時間を過ごすことができました。



ひまわり班一日外出

12月16日、ひまわり班で一日外出に行きました。

韮崎大村美術館の見学、幸福の小径や御勅使公園の散策を行いま
 した。天候にも恵まれ、暖かい日の外出となりました。大村美術館では、
 大村先生の弟さんに会い、館内の説明を聞くことができました。館内
 では利用者さんも小さな声で「すごい絵だね」と話すことがあり、全
 員が静かに見学することができました。小径の散策や御勅使公園では
 遊具で遊ぶ姿が見られ、自然の中で体を動かし、リフレッシュできま
 した。地域移行を目指すひまわり班では、今後も外出の機会を設けて
 いきたいと思います。

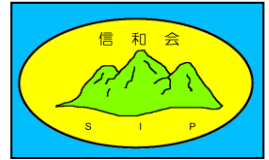


共同募金表彰

12月23日、東京都「なかのZERO」小ホールで
 行われた第68回東京都福祉大会において、穴山の里が
 東京都共同募金会会長表彰を受賞しました。これは、
 共同募金運動の趣旨に賛同し、長年の寄付により民間
 社会福祉の充実・向上に寄与した功績により表彰され
 たものです。この受賞を糧として、今後も誰もが安心して
 暮らせる社会の実現に向け、共同募金運動の発展・向上
 に努めてまいります。

穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL 0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



花の香りを楽しんでいきます！

公益財団法人日本フラワーデザイン協会
代田 緑

ちょうど一年ほど前から月に二回フラワーデザインのレッスンを担当させていただいております。どのような内容のレッスンを希望されるか伺ったところ、職員の方たちが作り、施設内に飾り利用者様や訪れる方に見てもらい作品を教えてもらいたいとの事でした。

フラワーデザインとは、欧米のフラワーアレンジメントを基本として日本の伝統的生け花の美学を融合させた新しい花の芸術でありデザインです。これを基本にしていますが、毎回レッスンに参加される方も変わるので、あまり難しい造形は気にせず楽しんでもらえるレッスンを心がけております。

お花が好きで興味のある方は、変わった種類の花材を前に、「珍しい色ですね」「名前を教えて」「綺麗で切るのがもったいない」と最後の葉の一枚まで大切に使うて熱心に作られる姿が印象的です。お花には縁遠いという方も、最初は、「難しそうだな」「センスないからな」と心配そうに進めていきますが、形が出来てくると、皆さん自然と笑顔になります。完成した各々の作品を眺めながら、「繊細だね」「ダイナミックだね」などと、同じ花材でも仕上がる作品の個性を皆さんで観察して会話も盛り上がっています。この月に二回のお花とのふれあいの時間で、笑顔と癒しが生まれたら嬉しいです。



動物愛護について思う

看護師 三澤亜弓

私の動物愛護活動のきっかけは、平成27年の冬に関西方面で超大型犬のブリーダー崩壊場からレスキューされた超大型犬(ボルゾイ)を里子に迎えた事が始まりです。このブリーダー崩壊場は個人宅で窓を板で全て閉じ、中には超大型犬が30頭以上居ました。糞尿が1m以上も積もり、毛は糞尿に汚染され鎧状態で水も餌もなく共食いまたは飢えに苦しみながら亡くなった子(犬)の死骸も多くありました。

里子に迎えた子は老犬で生まれてからずっと繁殖の為にしか使われず、既に視力を失い癌の末期状態で余命数か月と獣医師に宣告されました。私の中で「この子を涼しい自然の中で穏やかに過ごさせたい、地面を歩かせたい」との思いが強くなり移住を決断し移住地探しが始まりました。今まで山梨県へのご縁は全く無かったのですが、北杜市の自然と環境に魅力を感じ、平成28年3月に神奈川県藤沢市から白州の山奥に移住し、同時に個人ボランティアとして「ハケ岳ケアハウス」を自宅で始めることとなりました。

元々移居前からブリーダーやペットショップで購入した超小型犬と柴犬を数頭、家族の一員として一緒に生活していました。里子との出会いからブリーダーや繁殖屋で生まれた子犬達の親犬の状態や乱繁殖による生まれつき障害のある子(犬)が生まれている現状を知り、繁殖に使えなくなった子(犬)や障害犬を家族に迎え看取るというボランティア活動をしています。繁殖だけに使われてきた子達は人間を怖がり、心を閉ざしている子達ばかりで、心を開くには時間がかかりましたが、心を開き人間は怖くないとわかると素晴らしい笑顔を見せてくれるようになりました。移住してもうすぐ4年ですが20数頭を看取り、今も大切な家族として微力ながらも脳障害・老犬・全盲・虐待された犬や飼い主の事情で飼えなくなった犬達を引き取り、先住犬合わせて20頭と暮らしています。

一緒に暮らしている犬達や飼い主の事情と関わり、嬉しい事・悲しい事・辛い事を含め、犬達から沢山の学びと無償の愛を注いでもらっています。仕事をしながらの動物愛護活動は簡単ではありませんが、理事長や施設長をはじめ職員の皆様や地域の皆様の理解と犬達のケアに協力して下さる北杜動物病院の皆様のおかげだと常々感じます。

最後に、動物は物ではありません。人間と同じように赤い血が流れ、暑い・寒い・嬉しいなど感情がある事を理解して動物との共存共栄出来る時代になって欲しいと願っています。

新年おめでとうございます

入居者、職員一同元気に令和2年の正月を迎えました。入居者の平均年齢は88歳となりましたが、季節の感冒にも感染することなく元気に過ごしていただいております。まだまだ油断はできませんが本年も大過なくおくれるように注意してまいります。

最近の地球温暖化の影響のせいか昔の正月の頃の厳しい寒さがなくなってしまった感がありますがこれからまだまだ寒さが続きます。ご家族の皆様もご健勝にてお過ごしされますことをお祈り申し上げます。

11月10日(日) ご家族参加の環境整備を実施致しました。大変多くのご家族に参加して頂き、ご協力感謝いたします。皆様、進んで掃除をして下さり、居室・ユニット内を綺麗にする事が出来ました。また衣替えもお願い致しました。施設内は温度管理もしていますが、やはり入居者の皆さまは寒さを感じやすいです。衣類等の確認のまだの方、ご都合のよい時によりしくお願いします。

※タオル・雑巾を寄付して頂きました。ご理解ご協力を頂き、ありがとうございます。

生活相談員 河内摩衣

10月30日、蓮井春菜先生、飯室和子様による、フルートとオカリナの音楽会が行われました。赤とんぼや里の秋など季節を感じられる曲やフルートの代表曲の1つビゼー作曲アルルの女などが演奏され、フルートの優雅な音色にうっとりし、オカリナの音色にほっこりと癒されました。優しい雰囲気での眠気を誘われる方もいましたが、普段聴かない音楽を楽しませていただきました。

11月18日、田富町の初花会、荏岐市の松山会のメンバーの皆さまが慰問に来てくれました。マジックショーでは軽快な音楽にのりながら次々にカラフルなスカーフが出てくる手品や、何もない袋の中から、あら不思議!お札がバラバラと現れる手品などを楽しませてくれました。日本舞踊では華やかな着物に目を奪われ、「きれいだね!」と囁くご利用者の声も聞かれました。お座敷小唄の曲の場面では、手拍子や唄を口ずさむ方、一緒に手を動かし踊られる方などもあり、楽しい会となりました。

令和元年最後のロバとうさぎの会は11月20日に行われました。素敵な歌声、楽しいお話、体操で多くのご利用者が楽しい時間を過ごしました。毎月のお楽しみとなり、職員共々心待ちにしています。次回は4月、春の訪れとロバとうさぎの会の皆様が来られるのを今から指折り数えてお待ちしております。



11月8日、接遇レク環境整備委員会主催の喫茶店がオープンしました。今回はチョコレートケーキと苺ロールケーキのおやつセット!秋の陽ざしが差し込む中、挽き立てコーヒーの香りと職員や他ユニットの利用者との会話も楽しんでいました。また次回の開店が待ち遠しいですね。

12月26日クリスマス食としてにぎり寿司が提供されました。まぐろや甘エビ、イクラの輝きに、皆様の目もキラキラ。目の前で寿司職人が握る出来立てのお寿司は格別で「美味しかった!」「ご馳走をいただいた」と大喜び。笑顔も見られ、特別な昼食を楽しんでいただけた様子でした。



12月23日、鶴フロアにてクリスマス会が行われました。職員がクリームやフルーツなどでデコレーションし、ユニットの個性が出た華やかなホールケーキに、待ち切れず手を伸ばしクリームをつまみ食いされる方もいました。サンタクロースの帽子を被り、少し照れながらもにっこり笑顔を見せて下さいました。ご利用者も職員も楽しい時間を過ごしていました。

救急救命研修実施

11月19日、荏岐消防署の隊員2名に來設していただき、救命救急の研修を実施しました。2グループに分れ、AEDの使用方法・心肺蘇生法の手順について細かく指導していただきました。心肺蘇生法はかなりの体力が必要であり、協力し合う事が大事だと実感し、また職員から消防隊へ質問も多く有り、情報共有も出来ました。施設内ではもちろん、どんな時にでも慌てず対応出来るよう常に意識したいと思います。



わ～く 穴山の里

多機能型事業所 わ～く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



新年あけましておめでとうございます。

～新しい年を迎え、保護者様より今の想いをお届けいたします～

「大切な居場所」

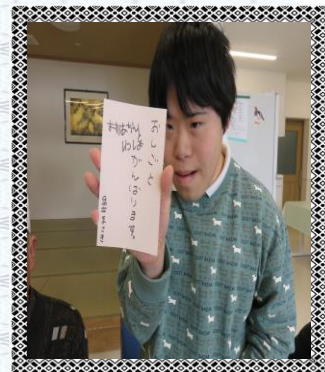
足立正希様 母 足立悦子様より

この地に移り住んで8年が過ぎようとしています。慣れ親しんだ土地を離れるに当たって一番不安だったのはやはり正希のこと。彼が自分の居場所として認め、生き生きと生活出来る環境に出会えるか…。

そんな親の心配はいつのまにか消えていきました。言葉によるコミュニケーションを取ることの難しい正希も「わ～く穴山の里」に通所するようになり、沢山の利用者さんの中で彼なりのコミュニケーション能力を発揮し充実した毎日を送っています。

職員の方々の細やかな配慮と適切な支援の積み重ねのおかげで、少しずつ成長していく姿を頼もしくさえ感じます。家庭の中ではどうしても甘やかしがちですが、良い所や小さな成長をしっかりと認め、悪い所や直すべき所は厳しく対処して下さることを有り難く思っています。

この六年、息子が通所を渋ったことは一度もありません。これからどんな事が待ち受けているか分かりませんが、今「わ～く穴山の里」は正希の大切な居場所なのです！



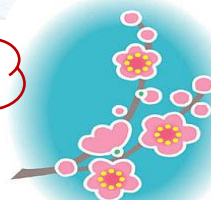
新年の抱負を発表!!



生活介護の創作活動
集中して作品を
作ります



駅舎清掃も参加
します



共同生活事業所

共同生活事業所 (わ～く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866



～今年も元気に頑張ります！～

謹賀新年



地域で生活する私達は
社会の一員として
過ごしています。
職員や世話人さんと
一緒に、生活に必要な
ことを練習したり、買
物に行ったり、友人と
遊んだり…
自分の力で生活するの
が1番楽しい！！
今年も充実した1年に
なりますように🍀



食事作りのお手伝いでは、調理だけでなく、盛り付けや配膳、片付けまでを手分けして行います。職員や世話人さんと一緒に食事の前の賑やかな一時です。



穴山の杜ショート

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 荏崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800



おやつレクで心と体に良い刺激！！

施設では様々なレクリエーションを行っております。中でも利用者様が毎月楽しみにしているひとつに『おやつレク』があります。おやつには1日の食事では補いきれない栄養の確保や、『食べたい』という気持ちを引き出す補食としての意味がありますが、レクリエーションに取り入れることで様々な効果が期待できると思います。

1. リハビリ（脳への刺激）

調理器具を使うことによって、“混ぜる”“ちぎる”“つまむ”などの細かい動きを意識することなく手先の運動ができる。また、食材を煮ている間に洗い物をしたり、粉をふるいながら混ぜたりと、同時に複数の動きを行うことができる。特に女性は、調理という昔から慣れ親しんだ動作は長い間記憶に残っている。

2. コミュニケーションがとりやすくなる

普段あまり関わりがなかった方と一つの物を作るという共同作業で、会話のきっかけになり、自然と人間関係の構築ができる。

それ以外にも作る楽しみや、できた時の喜びなどを感じ、意欲を引き出していくことも『おやつレク』の目的です。

これからも利用者様のリクエストに応え、懐かしいおやつや季節を感じる旬の食材を取り入れるなど、有意義な時間にしていきたいと思います。



余暇時間を利用して、手作りのクリスマスリースを作成しました。紙皿のくり抜きや緑のテープ貼りには苦戦しましたが、モールやリボンを飾り付け、可愛いリースが完成しました。各自お部屋に飾りました。



10月30日、どら焼きを作りました。大きく焼けた皮に餡子をたっぷり入れ、少々不格好ですが美味しくできました。



クリスマスイヴには黄色や赤のテーブルクロスを掛けて、ケーキバイキングとコーヒーでお祝いをしました。26日には『握り寿司』も食べ、最高のクリスマスウィークでした。



11月22日、『明野金時』で洋風芋餅を作りました。皮むき・潰し・形作りの工程を協力して行ない、バターの香りがいっぱいに広がりました。



令和2年のお正月は16名の利用者様と迎えました。新年の挨拶をし、美味しい雑煮とおせち料理をいただきました。即席の『穴山神社』が登場し、おみくじを引いて今年の運勢を占いました。『大吉！！』と喜ばれる声が多く、幸先良いスタートが切れました。また甘酒を飲みながら、恒例のカルタ取りや福笑い、書き初めを行い、手作りの絵馬に思いを込めて願い事を書きました。

今年も昨年以上に良き1年となりますように・・・。



感謝 録

(令和元年9月16日から令和元年12月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

村田正恵・古内保明・鷺宮社・中澤一紀・細田清子・川崎武志・伊藤紀元・伊藤正大・冬頭修二・岡野チヅ子・富田武男・嶋津公子・嶋津良子・嶋津泰子・森岡節子・堀井敬子・西山千代子・長坂泰子・本村組・河西久美・猪股直美・興水理一・宮方晴美・兵藤征子・フラワーシロタ・細田設備・ワタキューセイモア(株)山梨

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

阿部光雄(歌謡)・嶋津泰子・長坂泰子・嶋津公子・嶋津良子・森岡節子・西山千代子・堀井敬子(歌謡協力)・足立悦子(ピアノ演奏)・田中康子(絵画指導)・飯野祐子(習字講師)・千野公洋(太鼓指導)・蓮井春菜・飯室和子(フルート・オカリナ演奏)・初花会・ロバとうさぎの会・松山会

節分と恵方巻き



節分といえば「鬼は外! 福は内!」と言いながらの豆まきを思い出しますが、近年、恵方巻きという習慣を取り入れる方が増えています。商都大阪発祥の風習と言われているが、その起源の定説は未だ不明な点が多く、現在は「節分の夜に、恵方に向かって願い事を思い浮かべながら丸かじり(丸かぶり)し、言葉を発せずに最後まで一気に食べると願い事がかなう」とされています。「目を閉じて食べる」、あるいは「笑いながら食べる」という人もおり、これは様々です。また太巻きではなく「中細巻」や「手巻き寿司」を食べる人もいます。「恵方巻」という名称は、セブンイレブンの野田が仕掛けたことにより、2000年代以降に急速に広まりました。それ以前に「恵方巻」と呼ばれていたという文献類は見つかっていません。

2020年、今年の吉方位は“西南西”です。

編集 後 記

2020年 OlympicYear の幕開けです。先日は職員に見たい競技についてアンケートを実施致しました。開・閉会式は勿論のこと山梨県出身の選手が出場する競技に人気集中しました。日頃の努力と継続する力を最大限に発揮して頑張ってくださいと思います。法人では年度末を迎え次年度に関する検討に入りました。更なる飛躍を求め今年も進んで行きます。よろしくおねがいいたします。(I・Y)

訪 問 録

(令和元年9月16日から令和元年12月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎山梨学院短期大学

奥垣内葵・仲山佳怜来・山本優奈

◎帝京学園短期大学

渡邊玲海・小暮怜那・高橋瑞希

☆施設見学 (敬称略)

◎ぎんが工房

◎ワークハウス双葉

鳳凰会館関連工事終了

令和元年10月1日に竣工致しました地域交流センター『鳳凰会館』の関連工事が終了致しました。竣工以来各種活動に利用しており、外部団体の利用も始まっています。駐車場並びに壁面外構工事が終了し、利便性と景観が格段と向上致しました。

